BUFFALO

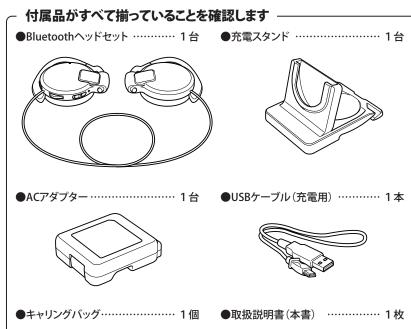
BBE機能搭載ブルートゥースヘッドセット

BSHSBE11 シリーズ

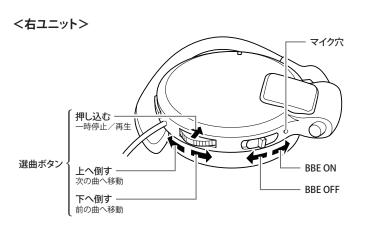
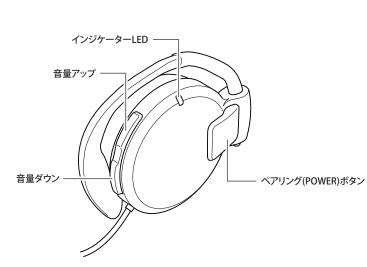
取扱説明書

本書は、本製品の取扱いについて説明しております。
本製品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくご使用ください。また、裏面の注意事項も必ずお読みください。

付属品がすべて揃っていることを確認します

●Bluetoothヘッドセット ………… 1台　●充電スタンド …………………… 1台
●ACアダプター …………………… 1台　●USBケーブル（充電用） ………… 1本
●キャリングバッグ………………… 1個　●取扱説明書（本書） …………… 1枚

本製品のPINコード（パスキー）は 1234 です。

各部の名称

＜右ユニット＞

はじめにやっていただきたいこと

本製品をお使いになる前に、充電をしていただく必要があります。

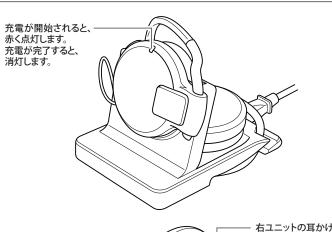
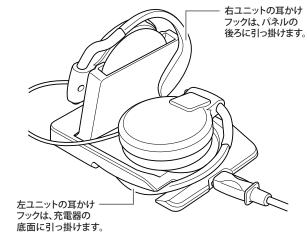
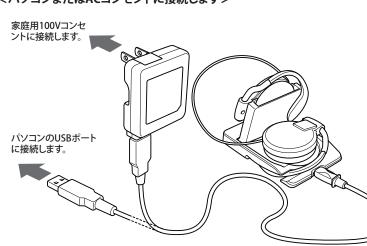
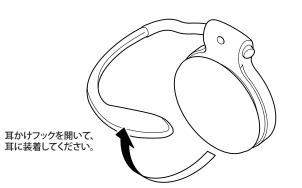
＜PC充電の場合＞
① あらかじめパソコンの電源をONにしておいてください。
② 付属のヘッドセット充電器に付属のUSBケーブルを挿します。
ケーブルの反対側をパソコンのUSBポートに挿します。
③ 充電が開始されると赤色LEDランプが点滅し、その後点灯します。
④ 充電が完了すると、LEDランプは消灯します。ケーブルを抜いてください。

＜ACアダプター充電の場合＞
① ACアダプターをコンセントに差し込みます。
② 付属のヘッドセット充電器に付属のUSBケーブルを挿します。
ケーブルの反対側をACアダプターのUSBコネクターに挿します。
③ 充電が開始されると赤色LEDランプが点滅し、その後点灯します。
④ 充電が完了すると、LEDランプは消灯します。ケーブルを抜いてください。

注意
- 充電中は、本製品をご使用になれません。
- 最初の充電には、約2～3時間かかります。導入後の日常の充電は、バッテリー残量によって異なります。

警告
金属のものに近づけたり、バッテリーをショートさせると怪我や火災の元となります。絶対におやめください。
充電には、付属のUSBケーブルのみお使いください。他のケーブル、または充電機器でのご利用は保障しておりません。また、危険ですので絶対にお使いにならないでください。

＜Bluetoothヘッドセットを充電スタンドに装着したところ＞

警告
本製品を充電スタンドに装着する場合、正しい向きで装着してください。誤った向きで充電を行うと本製品が故障するおそれがあります。

＜パソコンまたはACコンセントに接続します＞

ヘッドセットの装着方法

Bluetooth搭載携帯電話とのペアリング

本製品とBluetooth搭載携帯電話のペアリング（接続の認証）作業を行います。

1. 本製品の電源がOFFになっていることを確認します。
電源ボタンを約8秒間、青色LEDランプと赤色LEDランプが交互に点滅するまで押し続けてください。
2. Bluetooth搭載携帯電話の付属マニュアル等にしたがって、ペアリング（初期設定）を行ってください。
3. 本製品が順次対応ペアリングコードでの接続を試みます。
携帯電話で認証用のパスキーが要求されましたら「1234」を入力してください。
4. ペアリングが成功すると青色LEDランプ、赤色LEDランプの交互点滅から、青色LEDランプの約3秒毎に1回点滅に変わり接続完了となります。
5. ペアリングが失敗した場合は、本製品の電源をオフにし、再度手順1からやり直してください。

※ 携帯電話の機種によって、携帯電話側の表示方法は異なります。必ずご利用されている携帯電話の付属マニュアルをご参照ください。
※ 携帯電話の機種によって、リダイヤル機能がご利用いただけます。リダイヤル機能を使用した場合は、最後にかけた電話番号へ発信をします。
※ これらの動作は携帯電話の機種によっては対応しないものがあります。

注意
- **本製品と接続を行う受信機との距離を近くし、障害物がない場所で行ってください。**
ペアリングコードが対応していないなど、全てのBluetooth搭載携帯電話との組み合わせで動作は保証しておりません。
- **弊社では、本製品と携帯電話との接続については、サポートを承っておりません。また、携帯電話の対応機種に関しては、通話のみ確認しております。**

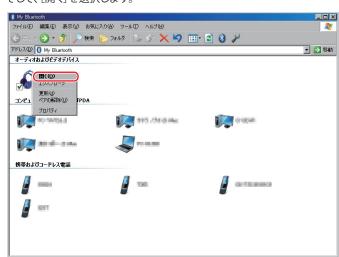
使用方法（ペアリング）

A2DPの場合

本製品を初めてお使いになるときは、ペアリング（接続の認証）を行わなければなりません。ペアリングは、二つの機器間で固有の接続です。一度ペアリングをされましたら、同じヘッドセット-レシーバー間では、再びペアリングをする必要はありません。
※ **認証用のパスキーが要求されましたら「1234」を入力してください。**
※ **弊社製BluetoothアダプターBSHSBD04BK（Motorola製のBluetooth Stackを使用）を使用した場合の画面です。お使いの環境によっては画面、操作方法が異なる場合がございます。**
※ **接続に失敗する場合は再度ペアリング作業を行ってください。**

1. 本製品の電源がOFFになっていることを確認します。
（電源がOFFになっていない場合は、本製品の電源ボタンを約2秒間、赤色LEDランプが点滅するまで押し続けて電源をOFFにしください）
2. ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［Bluetooth］－［My Bluetooth］を選択します。
3. 本製品の電源ボタンを約4秒間、青色LEDランプと赤色LEDランプが交互に点滅するまで押し続けてください。
（この操作で本製品がペアリングモードになり、Bluetoothの接続待ち状態になります）
4. 「My Bluetooth」の画面が表示されたら、［F5］を押して検索を始めます。

5. 検索結果が、「My Bluetooth」の画面に表示されます。

6. BSHSBE11のアイコンのところで、右クリックしサブメニューを表示します。
そして、［ペアの確保］を選択します。
7. 以下のようなメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。
8. ペアリングが終了したら、再度BSHSBE11のアイコンのところで、右クリックしサブメニューを表示します。
そして、［開く］を選択します。

9. 以下の画面が表示されますので、「オーディオ」の欄の右端にあります［接続］をクリックします。

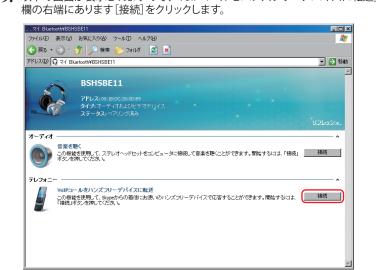
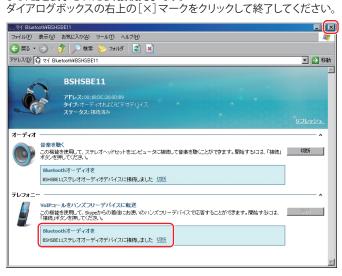
10. 以下のように「BluetoothオーディオをBSHSBE11ステレオオーディオデバイスに接続しました」と表示されたら、接続完了です。
ダイアログボックスの右上の［×］マークをクリックして終了してください。

11. 本製品が接続されますと、タスクトレイのBluetoothアイコンが白（ ）から緑（ ）に変わります。

以上で、パソコンに標準搭載のBluetooth機能、または別途お買い求めの弊社製Bluetoothレシバー等との接続は完了です。
レシーバーとの接続を切断する場合は、My Bluetooth画面から「BSHSBE11」アイコンを右クリックし、［開く］を選択します。
次に表示された画面で、［切断］をクリックします。

HFP/HSPの場合

※ **ここでは[ハンズフリー]を例にペアリング作業を行います。**
始めの方の操作は、A2DPの場合と同じです。
まず、「A2DPの場合」を参照し、1～8まで操作してください。

9. 以下の画面が表示されますので、「VoIPコールをハンズフリーデバイスに転送」の欄の右端にあります［接続］をクリックします。

10. 以下のように「BluetoothオーディオをBSHSBE11ハンズフリーデバイスに接続しました」と表示されたら、接続完了です。
ダイアログボックスの右上の［×］マークをクリックして終了してください。

11. 本製品が接続されますと、タスクトレイのBluetoothアイコンが白（ ）から緑（ ）に変わります。

以上で、パソコンに標準搭載のBluetooth機能、または別途お買い求めの弊社製Bluetoothレシバー等との接続は完了です。
レシーバーとの接続を切断する場合は、My Bluetooth画面から「BSHSBE11」アイコンを右クリックし、［開く］を選択します。
次に表示された画面で、［切断］をクリックします。

マルチペアリングに関して

マルチペアリングとは最大8台のBluetooth機器とのペアリング情報を記憶する機能です。本製品とペアリングを行ったBluetooth機器は接続操作をするだけで使用できます。（接続操作方法は各機器のマニュアルをご参照ください）
ペアリング情報が8台以上になった場合は最も古いペアリング情報に、新しいペアリング情報が上書きされます。

＜接続切り替え方法＞

1. 本製品の電源がONになっていることを確認します。
2. 以前に接続していたBluetooth機器のBluetooth接続（Bluetooth機能）をOFFにする、または電源をOFFにします。
3. 接続したいBluetooth機器（ペアリング済み）の接続操作をします。

以上で完了です。

※**同時に接続できるのは1台のみです。**
※**ペアリング情報を上書きされたBluetooth機器は再度ペアリングを行わなければ使用できません。**

裏面につづく

各ボタン機能とLEDランプに関して

本製品の各ボタン機能とLEDランプの機能を説明します。ご使用する機器によっては一部の操作が実行できない場合がございます。

機能一覧表

状態	操作	LEDインジケーター	アラーム音
電源ON	電源OFF時に、4秒間ペアリングボタンを押します。	青3回点滅＝＞5秒で青1回点滅に変わる	「プルルルーッ↑」と鳴ります。
電源OFF	電源ON時に、3秒間ペアリングボタンを押します。	赤3回点滅	「プルルルーッ↓」と鳴ります。
ペアリング	電源OFF時に、8秒間ペアリングボタンを押します。	赤／青交互に点滅	開始は、「プップッ」と鳴り、接続完了時に、「ピッ」と鳴ります。
ボイスダイヤル	選曲ボタンを、下へ4秒倒します。	—	「プッ」と鳴ります。
リダイヤル	選曲ボタンを、上へ4秒倒します。	5秒間に青1回点滅から通話中になると、5秒間に青3回点滅になります。	「プッ」と鳴ります。
着信応答	着信時ペアリングボタンを1回押します。	5秒間に青1回点滅から通話中になると、5秒間に青3回点滅になります。	「プッ」と鳴ります。
着信拒否	着信時ペアリングボタンを4秒間押します。	5秒間に青1回点滅	「ピポ」と鳴り着信拒否します。
通話終了	通話中に、ペアリングボタンを押します。	通話中5秒間に青3回点滅＝＞5秒間に青1回点滅に変わります。	「プッ」と鳴ります。
電池残量不足	—	30秒で赤2回点滅	30秒ごとに、「プーップーップーッ」と鳴ります。
マイクミュート設定	通話中に選曲ボタンを4秒押し込みます。	通話中5秒間に青3回点滅します。	"「ピポ↓」と鳴ってマイクミュートになります。その後、3秒ごとに「プーップーッ」となります。"
マイクミュート解除	マイクミュート中に、選曲ボタンを4秒押し込みます。	通話中5秒間に青3回点滅します。	「ピポ↑」と鳴ってマイクミュート解除になります。
音量最大	音量アップボタンを押し続ける	—	「ピー」と鳴ります。
音量最小	音量ダウンボタンを押し続ける	—	「ピー」と鳴ります。
A2DP接続	Bluetooth未接続時に、音量ダウンを4秒押し続けます。	5秒間に青1回点滅＝＞5秒間に青2回点滅になります。	「ピッ」と鳴ります。
音楽再生	選曲ボタンを1回押し込む	5秒間に青2回点滅	「ピッ」と鳴ります。
再生一時停止	音楽再生中に選曲ボタンを1回押し込む	5秒間に青2回点滅	「ピッ」と鳴ります。
次の曲へ移動	選曲ボタンを上へ1回倒す	5秒間に青2回点滅	「ピッ」と鳴ります。
前の曲へ移動	選曲ボタンを下へ1回倒す。	5秒間に青2回点滅	「ピッ」と鳴ります。
充電中	ヘッドセットを充電器にセットする。	赤点灯	—
充電完了	—	消灯	—

よくあるご質問

SCMS-Tに対応していますか。
⇒ 本製品はSCMS-Tに対応していますが、音楽再生機器が対応していない場合、ワンセグ等の音声出力ができません。

ヘッドセットの充電時間はどの程度必要ですか。
⇒ 電池の状態によりますが、約2時間で充電完了となります。

充電しながら使用することができますか。
⇒ 充電しながらご使用はできません。

Bluetooth Class1の機器と接続することができますか。
⇒ 接続することができます。Class1機器とClass2機器の接続時の通信距離などはClass2のものになります。

異なるバージョンのBluetooth機器と接続できますか。
⇒ 接続することができます。Bluetoothは上位互換となりますので、Bluetooth Ver2.1機器と接続したときの接続手順はBluetooth Ver2.0の接続手順となります。
EDR（Enhanced Data Rate）非対応の場合は、本製品の性能が発揮できない場合があります。

使用時にノイズが発生する。
⇒ HFPやHSPでの接続は、A2DPやAVCRPでの接続よりも双方向通信のため、音質のレベルが下がっております。
無線ですので、電波の障害となる遮蔽物が間に入るとノイズの原因となります。

マイクより音声が入力されない。イヤフォンより音声が出力されない。
⇒ Windowsのコントロールパネルより、オーディオとサウンドデバイスの設定にてBluetoothオーディオデバイスがミュートになっていたり、音量が下がっていないことを確認ください。
また、ヘッドセット本体のボリューム(+)を数回押して音量を上げてください。

携帯電話との接続で、音が途切れる、ノイズがひどい。
⇒ 本製品と接続した携帯電話を鞄の中に入れたり、ホルダー等を使用した場合、携帯電話の機種によっては、電波状態が悪化し音が途切れたり、ノイズが大きくなることがあります。

iPhoneで曲の移動が出来ない。
⇒ お手持ちのiPhone 3G/3GS/4と、第2世代以降のiPod touchのiOSのバージョンが4.0.x以前の場合、AVRCPに対応していません。
お手持ちのiPhone 3G/3GS/4と、第2世代以降のiPod touchのiOSを4.1以上にバージョンアップしてください。

製品仕様

共通製品仕様

項目	仕様
無線インターフェース	準拠規格：BluetoothVer2.1+EDR（Bluetooth）Class2準拠
送信周波数範囲	2.4GHz～2.4835GHz ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
通信距離	約10m(使用環境によって異なります)
通信出力	最大0.2mW
動作環境	温度：5～40℃、湿度：20～80%（結露なきこと）

ヘッドセット仕様

項目	仕様
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
対応機器	Bluetooth対応パソコン、Bluetooth搭載携帯電話 （各プロファイル対応のこと）
連続待受時間	400時間
連続通話時間	最大10時間
充電時間	3～4時間
ケーブル長	10cm
重量	ヘッドセット本体：45g、付属品込み：138g

制限事項
- ヘッドセットの充電は、パソコン本体など300mA以上供給可能なUSBポートを持った製品から行ってください。
- 音声に関連するアプリケーション（Windows Messenger、Windows Media Playerなど）は、Bluetoothヘッドセットを接続または切断する前に終了してください。該当するアプリケーションが動作していると、オーディオ入出力が正しく切り替わらない場合があります。スタンバイ、ハイバネーション、シャットダウン、Bluetoothデバイスの電源OFFまたは抜くなどの操作を行う前に、音声に関連するアプリケーションを終了し、Bluetoothヘッドセットを切断してください。
- Windows Live Messengerでチャットをしている際、ハウリングが発生することがあります。その場合、チャットウィンドウのマイクの感度を下げるか、オーディオの設定を変更してください。

BBE技術について

BBE について
近年 MP3 などのデジタル圧縮技術により、音を効率よく記録、伝送するアプリケーションが増えています。
この種のデジタルは、効率は良いのですが、高域の位相を正しく保てず、また多量の高調波が圧縮時に捨てられてしまいます。再生時には、高域のデコードが低域よりも時間がかかり、高域がさらに遅れてしまいます。これはデジタル圧縮された MP3 などが非圧縮の CD に比べ、曇って聞こえる理由の一つです。
この曇った音を回復するには、高域の位相を進めてやり、減衰した高域を若干ブーストしてやる必要があります。
これを解決してくれるのが BBE です。DVD やデジタル放送などの圧縮された音源ソースも BBE を使う事によってクリアで原音に近い音を再現します。

Mach3Bass について
固定 Q のバンドパスフィルターを持つ Mach3Bass は、ある特定の周波数をブーストすることでスピーカーの持つ低域の再生帯域を広げます。
その結果、Mach3Bass はスピーカーのベース・リフレックス（バスレフ）の動作および効果と大変似ています。Mach3Bass は、このポートチューニングを電気的に効率よく行い、スピーカーのコーンの振幅を無理に可動させることがなく負担を与えません。

BBE Mach3Bass　※本製品は、BBE Sound Inc. の技術を使用しています。

BBE Sound Inc. について
BBE Sound Inc. は、米国カリフォルニアにおいて、全世界に「BBE ソニックマキシマイザー」などのプロ用機器の製造・販売および、G&L ブランドのギター / ベースの製造・販売を行うメーカーです。
BBE の製品は、世界中で、音楽業界や音に関わる多くの人々が BBE プロ用機器を毎日の仕事において活用しています。
放送局でもラジオやテレビ局では収録から生放送にいたるまで BBE サウンド技術が採用されています。
日本をはじめとして、カナダ、スウェーデン、韓国、など多くの国々の国営・民営放送でも BBE は使われています。
また、BBE 搭載機器は、米国の数百局ものラジオやテレビ局において、まさに必須のアイテムとして高く評価されています。
詳しくは、BBE Sound Inc. のホームページをご覧ください。
http://www.bbesound.jp/

電波に関する注意

●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
●本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
●本製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
●本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
①構内無線局（免許を要する無線局）
②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
・AirStation製品、無線LANアダプター製品
・無線機能を搭載したLinkStation、LinkTheater
●本製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

項目	内容
使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FH-SS方式
想定干渉距離	10m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避不可

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

表示	意味
⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の指示を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

記号	意味
△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容(例：感電注意)が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 危険

禁止　本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本製品を加熱したりしないでください。
破裂、発火や火傷の原因となります。

強制　本製品から漏れ出た液体が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。
目に障害を与える恐れがあります。

強制　本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルを使用してください。

禁止　プラグ、ジャックの端子をショートさせないでください。
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやネックレス、ヘアピンなどの金属製品といっしょに携帯・保管しないでください。

禁止　直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くでの使用または放置をしないでください。
破裂、発火や火傷の原因となります。

分解禁止　本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

⚠ 警告

強制　本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

電源プラグを抜く　液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求め販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く　煙が出たり異臭、異音がしたら、パソコン及び周辺機器のスイッチOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求め販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く　本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプターを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求め販売店にご相談ください。

強制　接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用ください。
付属品（または指定品）以外をご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

水場での使用禁止　風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

禁止　濡れた手で本製品に触れないでください。
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。

強制　小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制　プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

強制　パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーが定める手順に従ってください。

強制　静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制　動作環境内（5℃～40℃）でお使いください。
低温時には、本製品（電池）の性能が低下することがあります。

強制　本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止　次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
・強い磁界が発生するところ
・静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
→故障の原因となります。
・振動が発生するところ
→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
→故障や感電の原因となります。

禁止　シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭きとってください。

強制　充電が終わったら、ケーブルを抜いてください。

強制　本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
本製品には、リチウムポリマー電池(Li-Po)が使われています。

強制　本製品は定期的に充電してください。
本製品に内蔵されている電池の性能が劣化するのを防ぐことができます。

お問い合わせ

お問い合わせについては、以下の順にてご確認いただきますようお願いいたします。
マニュアル（印刷物、添付 CD 等）をご確認ください。

弊社ホームページにて
最新 FAQ 情報、最新のドライバーダウンロードをご確認ください。
ホームページ　**http://buffalo-kokuyo.jp/support/**

上記で改善しない場合は、**サポートセンター**へお問い合わせください。
Web でのお問い合わせ先
http://buffalo-kokuyo.jp/support/toiawase/
FAX でのお問い合わせ先
050 - 5805 - 9384
電話でのお問い合わせ先　※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。
050 - 3163 - 3177　月～土（日・祭日、年末年始除く）9:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00
※050 から始まる IP 電話を利用しています。

修理品の発送先(A)

＜送付先＞
〒470-1121　愛知県豊明市西川町島原1-1
バッファローコクヨサプライ　修理センター宛

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。[illegible]

[illegible]

株式会社 バッファローコクヨサプライ
BSHSBE11シリーズ　取扱説明書
第3版発行　2011/8/26
KM00-0138-03